

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

おおぞら夜間保育園は、おおぞら保育園と同じ2002年4月に開園しました。堺市で唯一の認可夜間保育園です。長時間や変則勤務、夜間に就労している保護者の子育てと就労の両立を支援する為、午後10時までの保育をしています。更に、夜間の延長保育は午前0時まで実施しています。

一年目の夜間保育は、4人からのスタートで、定員の20人になるのに5年かかりました。9年間の保育の中で、異年齢保育の良さを生かしつつも、常に少人数の保育の難しさを感じてきたようです。子どもたちにとってよりよい保育条件作りの模索を、おおぞら保育園の職員も含めて討論し、保護者とも話し合う中で、2010年は、1・2歳はペンギングループ、3・4・5歳はいるかグループという形で過ごし、2011年は、3・4・5歳は同年齢のクラス集団で過ごしました。そして、2012年度は、おおぞら保育園の子ども達と一緒に昼間は年齢別に過ごすという形の保育をしています。0歳児については、開園以来0歳クラスで昼間の保育をしてきました。夜間の子ども達は、午後6時30分から2階の夜間保育室に移り、夕食準備、夕食、その後のあそび等異年齢での遊びをゆったり過ごしています。「くじらみたいにゆったりとあそび、ゆったりすごせたらいいね」とつけられたクラス名の通り本当にゆったり過ごしている子ども達の姿でした。

特に評価の高い点

- ・夜間保育の時間帯の子ども達が、家庭的な雰囲気でもともゆったり過ごしている姿を確認することができました。異年齢での自然な交流も見られ、特に夕食の準備など年令に応じたお手伝いをしていました。
- ・夕食はクッキングも含めて目の前で作って見せたり、献立も家庭的な内容の工夫がされ暖かい雰囲気でした。
- ・夜間保育の中で子ども達の生活やあそびについて、おおぞら保育園の職員と共に考え、保護者と話し合い、子どもにとって最善の保育を検討しながら実践している点が高く評価されます。

改善を求められる点

- ・保護者との信頼関係を基本にしながらも、夜間保育を利用する子について迎え予定時間と迎え予定者の記入など、夜間保育だけに念には念を入れての見直しが求められます。

第三者評価に対する事業者のコメント

社会福祉法人あおば福祉会は33年の歴史がありますが、夜間保育園の運営ははじめてでした。そのため、開園してからこの11年間、試行錯誤しながら小集団の子どもたちの保育を同敷地内にあるおおぞら保育園の職員集団とともに創ってきました。夜間保育園の理念を大切にしながら、職員集団でとりくんできましたが、今まで以上に夜間保育園の役割を果たすために第三者評価に参加することを決めました。受審にあたっては話し合いを重ね自分たちの保育をふり返り、検討していくことで気づきもたくさんあり、保育内容について深めることができました。受審中に子どもたちの日常の生活やあそびを観ていただく中、笑顔も多く、子どもとともに職員の表情もよいと評価していただきました。しかし、いくつかの改善点もありましたのでこれからも保育園の理念を生かして子どもも大人もみんなが育ち、地域に必要とされる保育園を目指していきます。

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

判 断 基 準 項 目	評価結果
I-1 理念・基本方針	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>保育理念、基本方針及び保育目標は、「パンフレット」「園のしおり」等に明記しています。これら内容は、職員には「夜間保育園職員ハンドブック」の配布と職員会議の討議を通じ周知し、保護者及び地域住民には行事や「地域ニュース」を通じて周知されています。</p>	

判 断 基 準 項 目	評価結果
I-2 事業計画の策定	
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>中・長期計画は策定しており、事業計画も策定しています。計画は、職員会議等を通じ組織的に策定しています。とりわけ、午前保育の要求にこたえるために早朝の延長料金を安価にするなど夜間保育の特殊性をふまえた事業内容へ見直しをしています。また、四者協議会（保護者・保育園・組合・育てる会）や保育懇談会を通じて保護者への周知も図られています。</p>	

判 断 基 準 項 目		評価結果
I-3 管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
評価機関コメント		
<p>管理者等の職務は「夜間保育園職員ハンドブック」の職務分担表に明記しています。遵守すべき法令等については、管理者自ら積極的に研修を受け、職員周知も行なっています。質の向上については、職員会議、グループ会議、クラス会議などの集団討議において、それぞれの立場から活発に意見を出しあうなかで、職員の能力や意見を引き出し、チーム力で仕事ができるようにと組織的運営を心がけています。休暇取得についても職員間で調整を行なうことにより運営に責任をもつと同時に働きやすい労働条件づくりに向けた努力が見られます。さらに、夜間保育園の独自のあり方の検討を行ううえで管理者の高いリーダーシップが発揮されていることが伺えます。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b
評価機関コメント		
<p>組織として社会福祉事業を取り巻く動向を把握するために各種会議や研修に積極的に参加し、保護者からの情報把握などから地域の情報をつかむ努力が行われています。</p> <p>外部監査は、実施されていませんが経営状況の分析については会計事務所と相談しながら法人として分析・検討を行い改善の努力が行われています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a
評価機関コメント		
<p>職員の意識向上と働きやすい職場をめざして職員研修の結果や自己評価をもとに年2回の面接を丁寧に行っています。次年度の職員配置についても管理職が一方的に決めるのではなく職員会議で決め方から職員集団で個人の課題も含めて検討し決めるなど一人ひとりを大切にすることが働き続けられる職場づくりにも結び付いています。また、夜間の保育士が昼間（おおぞら保育園）の保育体制（クラス）に加わるなかで保育の力量をつけるとともに、夜間ではゆったりとした異年齢保育の経験を積むことによる人材育成が行われています。しかし人事考課については、客観的な基準づくりや透明性のより一層の理解と工夫が求められます。</p> <p>おおぞら保育園と一緒に研修検討委員会を作り積極的に研修に参加をすると共に報告集をつくり保護者へも伝える努力が行われています。</p> <p>実習生の受け入れについては、マニュアルや担当者を明確にして養成校へのフィードバックも積極的に行っています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
評価機関コメント		
<p>子どもの安全を確保するためにおおぞら保育園と一緒に危機管理委員会をつくり事故防止の取り組み、不審者対応、感染症の予防や発生した時などの各種マニュアルを整備するとともに定期的に会議を行い組織的に取り組んでいます。災害時への対応もマニュアルと共に備蓄リストに至るまで細部に検討・実施しています。また、夜間保育園独自の避難訓練も実施しています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
評価機関コメント		
<p>昼間の集団で過ごす中で、子ども達は地域との交流も可能になってきています。ご近所の理解、関係機関との連携等は夜間保育だけに今後も大切にしていきたいことを期待します。なお、夜間保育園について一層市民への宣伝をすると共に、引き続きニーズ調査の努力を望みます。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント		
園の理念や基本方針に基づき、プライバシーの保護等は、おおぞら保育園同様「夜間保育園職員ハンドブック」の中でも明記し、周知しています。「利用者満足の向上」という点では、保護者にとってと子どもの生活にとっての両面から夜間保育のあり方の検討をしています。これまで同様、保護者と共に検討しつつ保育していくことを期待します。		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
評価機関コメント		
<p>夜間の子どもの昼間の様子は、クラス責任者会議や職員会議の中でおおぞら保育園の職員と共に確認しています。夜間保育の時の保育計画は、夜間の職員会議の中で検討しています。夜間保育の時の記録は引継ぎノートの中にあります。サービスの実施方法は「夜間保育職員ハンドブック」に文章化しており、職員会議の中で評価・見直しをしています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント		
<p>夜間保育園入園希望者に対しては、パンフレットを活用し、生活の流れ、時間のこと、延長保育料等の説明をきちんとしています。入園に際しては、必要に応じて同意確認書ももらっています。退園・転園・卒園などの際の継続性の配慮は、おおぞら保育園同様の文書も用意しての対応をしています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント		
<p>手順はおおぞら保育園と同様のアセスメントを行なっています。保護者の仕事の実態と子どもの生活の折り合いは、面接で丁寧な聞き取りと話し合いの努力がされています。個別の指導計画は、夜間の子の分も昼間の各年令の担任がたて、夜間保育時の計画は夜間の職員でたてています。</p>		

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a
評価機関コメント		
<p>おおぞら夜間保育園は、おおぞら保育園と同じく「社会福祉法人 あおば福祉会」の理念・保育方針・保育目標に基づいて、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成し、地域の夜間保育に対するニーズに応える保育所運営を行っています。</p> <p>延長保育を利用する園児が多く、おおぞら保育園で年齢別クラスでの一日の保育を終えて、午後6時30分に夜間保育園に入室します。</p> <p>おおぞら夜間保育園は異年齢児混合保育で、より家庭生活に近いゆったりした時間・空間を大切にしながら、養護に重点をおいた保育を展開しています。</p> <p>夕方の家庭生活を意識した保育が行われ、子どもたちは調理室をのぞき、調理員が夕食をつくる様子を見たり、声をかけたりしながら夕食まで遊んでいます。夕食ができあがると年長児が年下の子どもを自然に援助しながら、配膳などの準備を手伝い、居心地のよい環境のなかで夕食を食べます。</p> <p>夕食の前と後のお迎えを待つ間は、担任保育士とことばを交わしながら、のんびりゆったりあそんでいます。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-2 子どもの生活と発達		
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
評価機関コメント		
<p>夕方からは子どもたちが疲れや不安・寂しさを感じないように配慮と工夫をしています。</p> <p>夜間保育園担任保育士は延長保育担当保育士から引き継ぎを受け子どもたちを見守ります。特に0・1歳児は長時間保育が体調に影響することもあるので、クラス担任から密に引き継ぎが行われます。</p> <p>給食室の職員が家庭料理のあたたかさや味にこだわり、献立作成から食材の購入、主食・副食・汁物の調理、子どもたちへの配膳援助などを行い、一緒に食卓を囲んで夕食を楽しんでいます。夜間保育の根幹となる保育内容となっています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-3 保護者に対する支援		
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a
評価機関コメント		
<p>担任保育士は、お迎えの保護者一人ひとりと対話し、今日一日の保育園での様子、特に睡眠・食事・排泄・体調など生活や健康に関して丁寧に伝え、家庭での様子も聞くようにしています。保護者の悩みや相談ごとを受けとめ、必要に応じて個人懇談も計画します。</p> <p>夕食の献立表も毎月配布し、毎日実物を展示して見てもらえるようにしています。調理員がいる時間は、お迎えの保護者との対話を大事にし、相談にもなっています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
評価機関コメント		
<p>体罰など職員による不適切な対応の禁止を就業規則に記載し、会議・研修などで学習したことを職員間で共有し、不適切な対応を防止するための取り組みがされています。</p>		

利用者(子ども)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	
調査対象者数	人
調査方法	

利用者への聞き取り等の結果（概要）

--

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	おおぞら夜間保育園在園児の保護者
調査対象者数	14世帯
調査方法	保育園からすべての保護者にアンケート用紙を配布してもらい、内容は密封して保護者から直接、評価機関へ郵送してもらった。

利用者への聞き取り等の結果（概要）

14世帯中4世帯から回答があり、28.6%の回収率でした。そのため保護者全体の状況が反映されているとは言いがたいですが、回答のあった範囲での概要を下記に示します。

「はい」「いいえ」2者選択の設問が17項目あるなかで多くは「はい」（90%以上「はい」が10項目）と答え、保護者は保育園に対して全体的には肯定的に受け止めていることが伺えます。

「園に希望すること」「感じていること」など自由記述欄には回答中100%の保護者がコメントを寄せており、保育園への関心の高さの表れといえましょう。

「意見や意向を伝えることができますか」との問に「はい」が1件だけであり、保育園に対する要望のコメントも一定数あることから、保育園と保護者のコミュニケーションをさらに高めることにより、保育への納得と信頼を築くことができるものと期待します。